

記入例

(様式3)

令和○年 ○月 ○日

社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
会 長 様

(報告者)

自治会名	〇〇区		
代表者氏名	永平寺 太郎	住所	永平寺町〇〇××
自宅番号	〇〇-〇〇〇〇	携帯番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和○年度 小地域福祉委員会活動助成事業助成金実績報告書

次のとおり小地域福祉委員会活動を実施しましたので、小地域福祉委員会活動助成事業実施要綱第8条に基づき、関係書類を添えて報告します。

記

1. 助成金額 金 18,000 円

(請求額)

※算出は、委員会の開催回数×1,500 円 (上限 18,000 円)

2. 関係書類

令和○年度 小地域福祉委員会活動実施報告書 (様式4)

令和○年度 小地域福祉委員会活動精算書 (様式5)

※精算書 (様式6) については、申請のあった委員会の開催回数に変更が生じた場合のみ提出



年間 12 回開催の場合 (1,500 円×12 回=18,000 円)

(様式4)

令和○年度 小地域福祉委員会活動実施報告書

(自治会名 ○○区)

委員会名称	【例】○○区小地域福祉委員会		
委員会実施場所	【例】○○区生活改善センター		
委員会活動により 得られた効果 ※別紙提出も可	【例】 ・ひとり暮らし高齢者の困りごとの把握ならびに対応 ・災害時の支え合い関係の構築		
委員会活動の内容 ・ 実施時期（月） ・ 実施内容 などを具体的に	小地域福祉委員会メンバー（役員） 【例】 区長、副区長、民生委員児童委員、福祉委員、サロン代表、自主防災役員・・・		
	回	実施時期（月）	実施内容
	1	令和○年 4	【例】情報交換会
	2	5	【例】見守り訪問
	3	6	【例】見守り訪問
	4	7	【例】研修会
	5	8	
	6	9	
	7	10	
	8	11	
	9	12	
	10	令和○年 1	
	11	2	
	12	3	

※本様式は、申請した委員会の開催回数に変更が生じた場合のみ提出してください。

(様式5)

令和○年度 小地域福祉委員会活動 精算書

令和○年度 小地域福祉委員会活動助成事業 活動の助成金につきまして、申請した委員会の開催回数に変更が生じたため報告いたします。

☒ 請求

令和○年度の委員会開催数から算出した金額(助成対象額)が、助成交付済額より
1,500 円 上回りましたので、請求いたします。

～振込先～

金融機関名	〇〇銀行	支店名	××支店
預金種別	普通	口座番号	〇〇〇〇
フリガナ	エイヘイジ タロウ		
口座名義	永平寺 太郎		

※口座名義欄のフリガナは必ず記入してください。

※個人の口座への振り込みは出来かねますので、あらかじめご了承ください。

※通帳の口座名義人氏名等が分かるページのコピー添付をお願いいたします。

☐ 返還

令和○年度の委員会開催数から算出した金額(助成対象額)が、助成交付済額より
円 下回りましたので、現金にて返還いたします。

※大変恐れ入りますが、返還金が生じた際には、現金も添えて窓口にご持参いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人
永平寺町社会福祉協議会
会長 吉田 謙治 様

令和 ○年 ○月 ○日

自治会名 〇〇区

代 表 永平寺 太郎

(様式1)

令和〇年 〇月 〇日

社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
会 長 様

(申請者)

自治会名	〇〇区		
代表者氏名	永平寺 太郎	住所	永平寺町〇〇××
自宅番号	〇〇-〇〇〇〇	携帯番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和〇年度 小地域福祉委員会活動助成事業助成金交付申請書 兼 請求書

次のとおり小地域福祉委員会活動を実施するにあたり、小地域福祉委員会活動助成事業実施要綱第6条に基づき、関係書類を添えて申請します。

記



年間12回開催の場合(1,500円×12回=18,000円)

1. 申請金額 金 18,000 円

※算出は、委員会の開催回数×1,500円(上限18,000円)

2. 関係書類

令和〇年度 小地域福祉委員会活動実施計画書(様式2)

3. 振込先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	××支店
預金種別	普通	口座番号	〇〇〇〇
フリガナ	エイヘイジ タロウ		
口座名義	永平寺 太郎		

※口座名義欄のフリガナは必ず記入してください。

※個人の口座への振り込みは出来かねますので、あらかじめご了承ください。

※通帳の口座名義人氏名等が分かるページのコピー添付をお願いいたします。

(様式2)

令和○年度 小地域福祉委員会活動実施計画書

(自治会名 ○○区)

委員会名称	【例】○○区小地域福祉委員会		
委員会実施場所	【例】○○区生活改善センター		
自治会内で認識している福祉(生活)課題	【例】 ・ひとり暮らし高齢者の困りごとの増加 ・災害時の支え合い関係の未構築		
委員会活動により期待する効果	【例】 ・定期的な見守り訪問を行うことにより、ひとり暮らし高齢者の困りごとを把握する。必要に応じて役場や社協に連絡しサービス等に繋げる。 ・要支援者の情報をメンバー間で共有し役割分担を行うことで、いざという時のスムーズな避難を可能にする。		
委員会活動の内容 (予定)	小地域福祉委員会メンバー（役員） 【例】 区長、副区長、民生委員児童委員、福祉委員、サロン代表、自主防災役員…		
・ 実施時期（月） ・ 実施内容 などを具体的に	回	実施時期（月）	実施内容
	1	令和○年 4	【例】情報交換会
	2	5	【例】見守り訪問
	3	6	【例】見守り訪問
	4	7	【例】研修会
	5	8	
	6	9	
	7	10	
	8	11	
	9	12	
	10	令和○年 1	
	11	2	
	12	3	